

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年12月～令和6年11月



発行日 令和7年1月31日

株式会社 角商店

検 認	作 成
2025.1.31	2025.1.31
角 孟	鹿田俊尚

目 次

1	組織の概要	P1
2	主要な業の許可内訳	P2
	許可の内容 積替え又は保管の詳細	P3
3	施設等の状況	
3-1	運搬車両等の種類と台数	P4
3-2-1	処理工程図 廃棄物受け入れチャート	P5
3-2-2	処理工程図 廃棄物処理チャート	P6
3-2-3	鉄工所作業チャート	P7
4	環境経営方針	P8
5	エコアクション21実施組織図	P9
6	環境経営目標及び主要な活動計画の内容	
6-1	環境経営目標	P10・11
6-2	主要な活動計画の実施内容	P12・13
7	環境負荷の状況	
7-1	環境への負荷の状況(とりまとめ表)	P14
7-2	環境への取組の自己チェックリスト	P15・16
8	環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	
8-1-1	環境経営目標の達成状況	P17
8-1-2	当社で使用した電力と燃料の推移	P18
8-1-3	当社排出二酸化炭素見える化	P19・20
8-2	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P21
9	中期環境経営目標	
9-1	中期環境計画 74期から76期	P22
9-2	主な環境経営計画の実施内容 74期から76期	P24
9	環境関連法規への違反、訴訟の有無	P26
10	全体の評価及び見直しにおける社長コメント	P26
11	環境レポートの公表	P26

1. 組織の概要

会社名 株式会社 角商店

代表者名 代表取締役 角 孟

設立年月日 昭和25年12月25日

所在地 本 社
〒857-0852
長崎県佐世保市干尽町3番地11
TEL 0956-33-3001
Fax 0956-34-1113



白岳工場
〒857-1164
長崎県佐世保市白岳町1538番1
TEL 0956-33-1071
Fax 0956-33-2721



環境管理責任者 鹿田俊尚
連絡先 Tel 0956-34-1111

事業内容

本社・鉄工工場 鉄工業

白岳工場 鉄・非鉄スクラップ加工製鋼原料販売
産業廃棄物・一般廃棄物 収集運搬
産業廃棄物(金属くず) 中間処理
第1種フロン類回収業

事業規模 資本金 1000万円
売上高 6億2千万円(令和6年度)
従業員数 29名(役員を含む)
敷地面積 本 社 2,195㎡ 白岳工場 3,984㎡
廃棄物取扱量 産業廃棄物 収集運搬量12.48t
中間処理量6.23t
一般廃棄物 収集運搬量 0.43t
フロン類回収量 8.5Kg (R5度実績 長崎県への報告数量)

2. 主要な業の許可内訳

種類	許可自治体	許可番号 許可の年月日 許可の有効年月日	事業の範囲
産業廃棄物処分業 中間処理	佐世保市	第08021001306 令和5年2月4日 令和10年2月3日	金属くず (石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物 及び水銀含有ばいじん等を除く) (特別管理産業廃棄物であるものを除く。) (自動車等破砕物を除く。) 以上1種類 処理方法 切断・圧縮(スクラップシャー) 処理能力 38.4t/日(8時間)、4.8t/時間
産業廃棄物 収集運搬業	佐世保市	第08011001306 令和2年3月8日 令和7年3月7日 ↓ 令和7年3月8日 令和12年3月7日 へ更新予定	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず 金属くず、ガラスくず・陶磁器くず及びコンクリートくず がれき類 (これらのうち、石綿含有産業廃棄物および 特別管理産業廃棄物であるものを除く。) (積替えまたは保管を行う。) 以上7種類 積替え又は保管場所 1箇所 (積替え又は保管の詳細は次ページ参照)
	長崎県	第04200001306 令和5年2月25日 令和10年2月26日	廃プラスチック類、木くず 金属くず、ガラスくず・陶磁器くず及びコンクリートくず がれき類 以上5種類 (石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を 除く。) (水銀使用製品産業廃棄物を含む。) (これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを 除く。) 以上5種類(積替・保管行為を含まない)
	佐賀県	第04106001306 令和5年4月17日 令和10年4月16日	廃プラスチック類、木くず、がれき類 金属くず、ガラスくず・陶磁器くず及びコンクリートくず (自動車等破砕物を除く) (これらのうち、石綿含有産業廃棄物および 特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上5種類(積替・保管行為を含まない)
一般廃棄物 収集運搬業	佐世保市	佐世保市指令6 廃指第68号 令和6年11月16日 令和8年11月15日	燃やせるごみ、燃やせないごみ 粗大ごみ、資源物 (これらのうち特別管理一般廃棄物であるものを除く。) (積替えまたは保管を行う。) 積替えまたは保管の詳細は次ページ参照
第一種フロン類 回収業者登録	長崎県	42-1-0354 令和4年9月12日 令和9年9月11日	CFC HCFC HFC エアコン、冷蔵・冷凍機 充てん量50Kg未満のものに限る
※ 建設業	長崎県知事	般-6 第10136号	解体業

※建設業は活動の実態がないので対象に入れません。

許可の内容

積替え又は保管の詳細

産業廃棄物収集運搬業

佐世保市許可 08011001306号

積替え又は保管場所の所在地	佐世保市白岳町1510番地2、1511番地2		
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
廃プラスチック類	27.84m ²	32m ³	屋内保管
紙くず	9.28m ²	3m ³	屋内保管
木くず	9.28m ²	7m ³	屋内保管
繊維くず	9.28m ²	4m ³	屋内保管
金属くず	18.56m ²	14m ³	屋内保管
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	9.28m ²	7m ²	屋内保管
がれき類	18.24m ²	14m ³	屋内保管
(上記のうち石綿含有産業廃棄物を除く。)			

一般廃棄物収集運搬業

佐世保市許可 佐世保市指令6廃指第68号

積替え又は保管場所の所在地	佐世保市白岳町1510番地2、1511番地2		
一般廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
ごみ(可燃性)	2.66m ²	3.99m ³	屋内保管
粗大ごみ(可燃性)	1.33m ²	1.99m ³	屋内保管
資源物(古紙類)	2.66m ²	3.99m ³	屋内保管

3. 施設等の状況

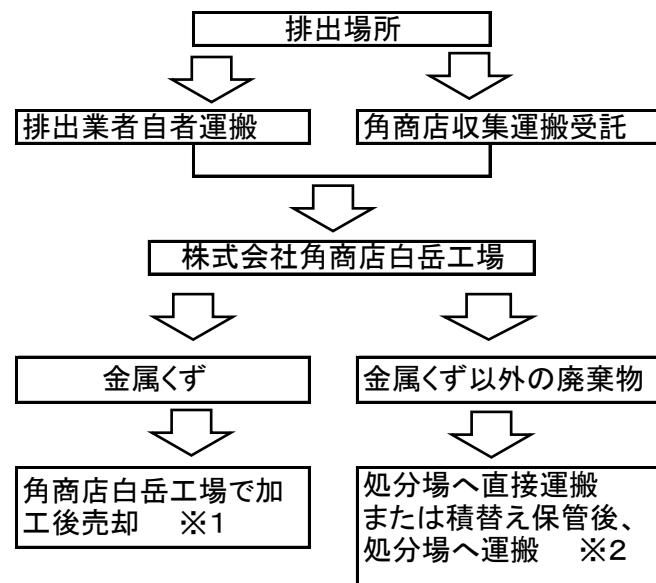
3-1 運搬車両等の種類と台数

収集運搬車		重 機	
車 種	台数	車 種	台数
10tツカミ	1	油圧ショベル	4
8tユニック	1	ホイールローダー	1
14t平トラック	1	フォークリフト	2
12t平トラック	1		
10t平トラック	1		
4t平トラック	1		
4tツカミ	1		6
2t平トラック	1		
8tアームロール	1		
軽トラック	1		
軽自動車(営業車)	2		
	12		

設 備	
種 別	台数
ニューワイドシャー	1
	1



【廃棄物受け入れチャート】



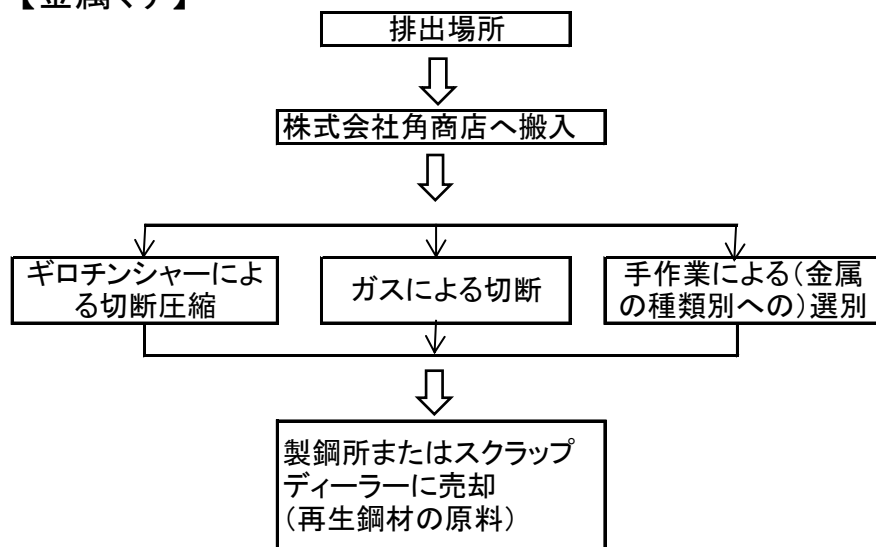
※1
処理工程図3-2-2 【金属くず】参照

※2
処理工程図3-2-2 【その他の廃棄物】参照

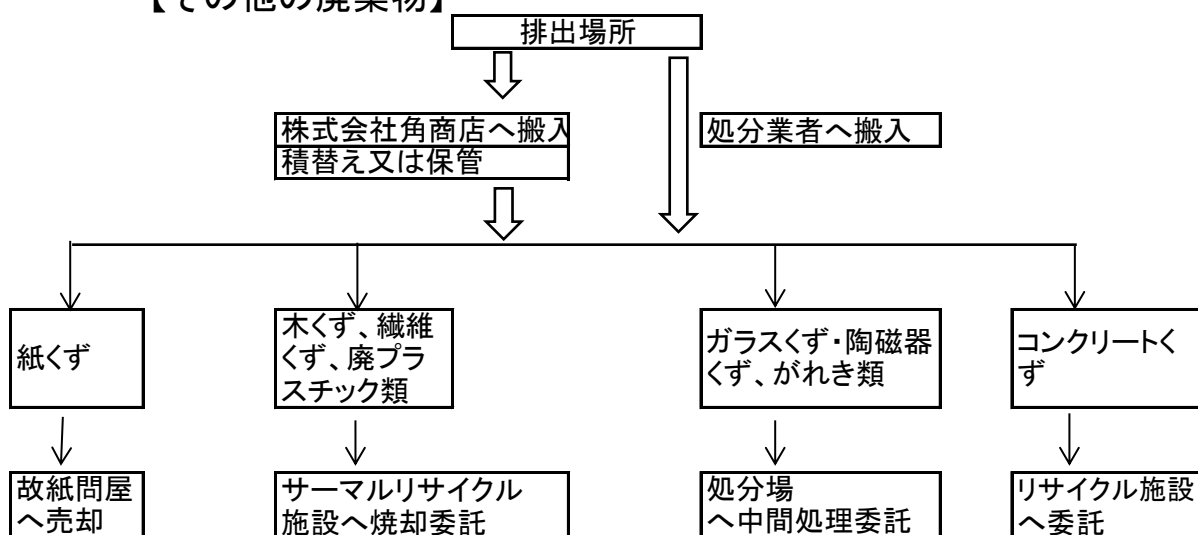


3-2-2 処理工程図 【廃棄物処理チャート】

【金属くず】



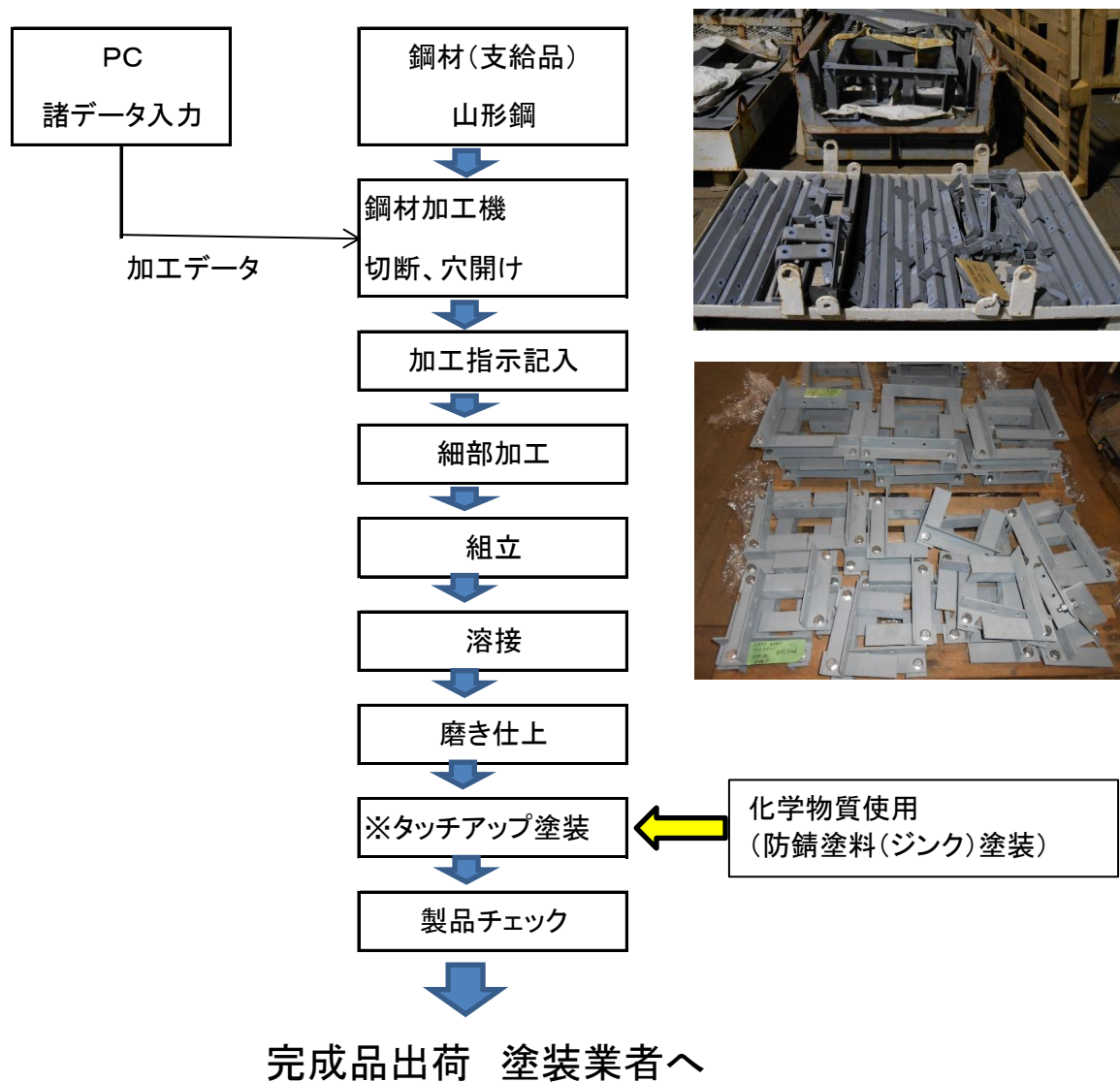
【その他の廃棄物】



3-2-3

【鉄工所作業チャート】

当社鉄工部では、造船サポート(船の配管を固定する部材)を製作しております
製作は下記チャートのようにおこなっています。



※ 当社で行う塗装は、溶接面や切断面等、加工時に鉄の地肌が露出した部分の補修塗装(刷毛塗り)を行うのみで、全面塗装は行っていません

4.環境経営方針

基本理念

株式会社角商店は、戦後の混乱期に創業し、高度経済成長期からその後の長期低迷期を経て今日に至るまで、一貫して金属回収を主たる業務とし、金属リサイクルに尽力してきました。

近年は、循環型社会の構築が地球環境の維持に欠かせない、と認識されるようになり、その認識の下で、私たちの事業は、資源の消費と環境負荷を軽減するものとして、重要性を増しています

しかし、一方で事業活動は二酸化炭素の排出をはじめとする、環境負荷も生じます。

よって、環境負荷を低減させるべく、私たちの事業活動が環境に与える影響を把握し、環境負荷軽減の工夫と努力をし、環境と地域住民に配慮した環境経営を行っていきます。

この実現のため、以下の環境経営方針を定め、その方針に基づいて環境の保全、及び継続的な改善努力を行います。

環境経営方針

(1) 省資源・省エネルギー活動の推進

事業活動における消費電力・紙・水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の節減等、資源消費量を抑えるよう適正な管理に努めます

(2) 省エネ活動によるCO2排出量削減の推進

電力の効率的使用、エコな運転等でCO2排出量の削減を推進します。

(3) 廃棄物の削減・分別・処理、リサイクル活動の推進

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、リサイクル活動を推進します。

(4) 使用する化学物質は適正に管理します。

(5) 自らが提供するサービスに関する環境配慮を推進します。

(6) 環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。

(7) 継続的改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらなる継続的な環境改善につなげていきます

(8) 情報提供と地域の環境活動・施策への協力

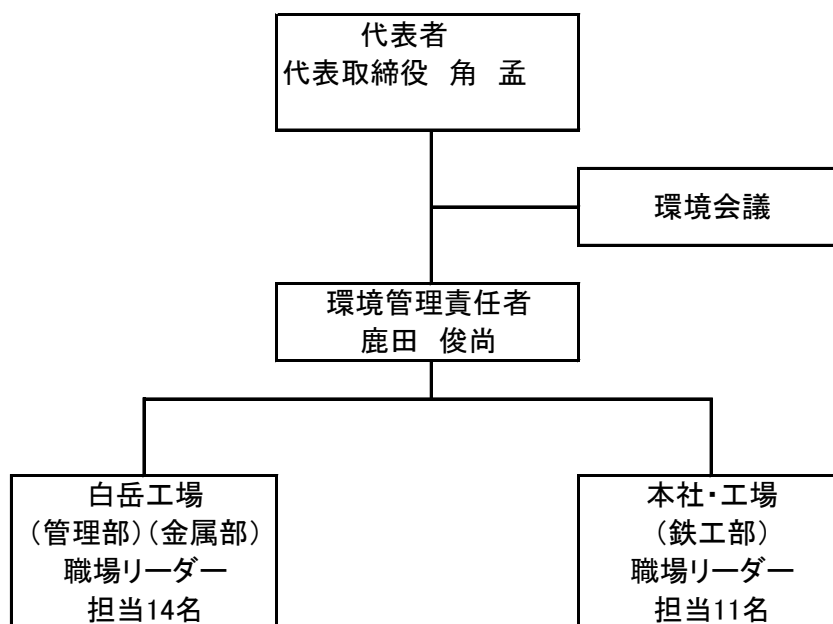
環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うとともに地域社会の一員として地域の環境活動並びに施策に積極的に協力します。

令和元年12月1日 制定

株式会社 角商店

代表取締役 角 孟

5. エコアクション21実施組織図



各担当の役割と権限及び責任

1、代表者

- ・ 環境方針を策定する
- ・ 環境目標及び環境活動計画を承認する
- ・ 環境管理責任者を任命する
- ・ 環境経営システムの構築運用環境目標及び行動計画に必要な資源（人的、物的、金銭的）を用意する。
- ・ 年1回環境形成システム、方針、目標の見直しを行う。

2、環境管理責任者

- ・ 環境経営システムに関する記録を管理、保存する。
- ・ 代表者に代わり環境経営システムを構築・運用し、取り組み結果を確認・評代表者へ報告する
- ・ 教育・訓練の実施の年間計画の策定、社内外における環境コミュニケーションのとりまとめ。環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理、環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。
- ・ 環境経営システムの構築・運用に責任を持つとともに、必要な権限を持つ。

3、職場リーダー

- ・ 各担当部門における活動について、環境管理責任者とともに計画を策定す
- ・ 各担当部門における環境活動を率先して行い、環境活動計画に沿って活動を行い、結果を環境管理責任者へ報告する。

4、各担当職員

- ・ 担当環境活動を実施し、結果を記録し計画との相違についてチェックし、職場リーダーに報告する
- ・ 各担当部門の環境活動を積極的に行うこと

6. 環境経営目標及び主要な活動計画の内容

6-1 環境経営目標

当社の期は12月1日から11月30日まで

69期 令和元年12月1日～令和2年11月30日

(69期売上物量 13,352.7t)

73期 令和5年12月1日～令和6年11月30日

73期の活動目標は下記の通りです

1) 省エネルギー活動の推進

目 標

取り扱い物量(金属くず売上量とパイプサポート生産量を合算した数量)1tあたりのエネルギー使用量、および二酸化炭素排出量が69期水準を超えないようにする。

69期 取扱物量	13,352.7 t
----------	------------

① 電力消費量の維持

目標 売上物量1tあたりの電力使用量を69期水準に維持

項目	単位	69期使用量	1tあたり(目標値)
電力消費量	kWh	280,268	20.99kWh/t

② 自動車・重機用の燃料及びプロパンガスの二酸化炭素の維持

売上物量1tあたりの燃料使用量を69期水準に維持

項目	単位	69期使用量	1tあたり(目標値)
燃料消費量灯油	ℓ	7,770	0.58ℓ/t
燃料消費量ガソリン	ℓ	4,310	0.32ℓ/t
燃料消費量軽油	ℓ	84,819	6.35ℓ/t
液化石油ガス(LPG)	kg	2,810	0.21kg/t

①+② 二酸化炭素排出量

売上物量1tあたりのCO₂排出量を69期水準に維持

項目	単位	69期実績量	
二酸化炭素排出量	kg/CO ₂	409,356	
売上物量	t	13,352.7	
売上1tあたりの排出量	kg/t	30.66	(71～73期 各年間目標値)

2) 自らが排出する廃棄物のリサイクル率の向上

① 自社排出一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

自社排出一般廃棄物のリサイクル率を50%以上に維持する

項目	単位	69期実績	各期年間目標値
再生利用	Kg	589.6	800
単純焼却	Kg	941.9	800
リサイクル率	%	38.5%	50.0%

③ 自社排出産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

自社排出産業廃棄物のリサイクル率を52%以上に維持する

項目	単位	69期実績	各期年間目標値
再生利用	t	30.6	55
単純焼却	t	0	0
埋立	t	11.17	51
リサイクル率	%	73.3%	52%

3) 受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持

現在、処理受託産業廃棄物のうち、金属屑は自社で100%リサイクル、その他の廃棄物は積極的にリサイクル行う処理場を選定して運搬しているため、リサイクル率は97%を超えている。今後もリサイクル率98%以上を維持する。購入した金属屑(有価物)は数量に含めていない。

項目	単位	69期基準	各期年間目標値
再生利用	t	14.19	20
単純焼却	t	0	0
埋立	t	0.28	0.5
中間処理後の再生資源の割合	%	98%	98%

4) 水使用量の削減

水の年間使用量を1000t以下に抑える

項目	単位	69期実績	各期年間目標値
上水、地下水使用量	m3	845.2	1000

5) 地域貢献活動の推進

環境美化活動を年間2回、地域貢献活動を2種類以上実施する

項目	単位	69実績	各期年間目標値
環境美化活動	回		2
地域貢献活動	種類	3	2

6) 化学物質の適正管理

69期、の使用量は下表のとおり。

これらの化学物質を適正に管理します。

種類	単位	69期基準	各期年間目標値
トルエン	Kg	90.85	化学物質を適正に管理します。
キシレン	Kg	61.82	
エチルベンゼン	Kg	8.35	



引き取った機械に貼ってあった注意書き
細やかな注意喚起にハッとさせられます。安全確保は最重要です。

6-2.主な環境経営計画の実施内容【71期から73期】

(令和4年から令和6年)

・当社は以下の活動を実施しており、達成状況と活動の実施状況を定期的に環境会議にてフォローしています

1. 二酸化炭素排出量の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

取組目標		責任者	達成手段	
1	スクラップ出荷量および製品製造量1tあたりの電気使用量を、69期の使用量以下に維持する	白岳:鹿田俊尚 本社:花田浩一郎	1	必要のない照明の消灯
			2	照明器具の定期的な清掃
			3	エアコン設定温度の適正管理
			4	エアコンは定期的にフィルターの清掃をする
			5	昼休み等、稼働時以外は照明をこまめに消す
			6	OA機器の省電力設定
			7	動力機器は不要時の電源を切る
			8	LED照明へ随時取り替える
2	スクラップ出荷量および製品製造量1tあたりの燃料使用量を69期の使用量以下に維持する	白岳:吉沢広司 本社:古賀敏郎	1	積み込み時のアイドリングストップ実施
			2	急発進、急ブレーキの抑制
			3	社用車(乗用車)の効率的な運行
			4	日常的に車両の点検を行う(空気圧、油漏れの確認等)
			5	トラックの走行ルート of 効率化
			6	各車両の走行距離と使用燃料の管理
			7	デジタルタコメーターによる安全かつエコな運転の確認
			8	ドライバーは毎朝アルコールチェッカーで検査
			9	運転成績は毎月発表し、運転手の安全運転への意識を高める

2. 廃棄物排出量の削減の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

取組目標		責任者	達成手段	
1	自らが排出する一般廃棄物排出量のサイクル率50%以上の維持	白岳:吉沢広司 本社:花田浩一郎	1	裏紙の使用
			2	使用済封筒の再利用
			3	ゴミの分別により資源ごみの比率を高める
			4	新聞、段ボール等の紙類は故紙回収に出す
2	自らが排出する産業廃棄物排出量のサイクル率52%の維持	白岳:吉沢広司 本社:古賀敏郎	1	産業廃棄物は分別し、リサイクル率の維持に努める
			2	リサイクルを行う処理場に優先的に委託する。
3	受託産業廃棄物のリサイクル率97%の維持	白岳:鹿田俊尚	1	分別し、リサイクル率の維持に努める
			2	リサイクルを行う処理場に優先的に委託する。

3. 水使用量の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

取組目標		責任者	達成手段	
1	上水の年間使用量を1000t以下に維持する	白岳:松尾和徳 本社:花田浩一郎	1	手洗い時の流しっぱなし禁止
			2	掃除のときはバケツに水をくみ、その水を使用する
			3	水道管破損による漏水に気を付ける

5. 地域貢献活動の推進

取組目標		責任者	達成手段	
1	環境美化活動を年間2回、地域貢献活動を2つ以上行う	白岳:吉沢広司 本社:鹿田俊尚	1	佐世保市主催の空き缶回収キャンペーンへの参加
			2	事業所付近の環境美化活動
			3	古切手を集めPTAに寄付
			4	こども食堂への応援寄付
			5	支援学校への教材の提供、実習生の受け入れ

6・化学物質の適正な管理

取組目標		責任者	達成手段	
1	化学物質を適正に管理する	本社: 古賀敏郎	1	安全シートによる適正な管理
			2	容器を破損する可能性がない安全な場所での保管(漏洩防止)
			3	火気厳禁での保管



金属屑 搬入



荷下ろし

荷下ろし完了



7. 環境負荷の状況

7-1. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

年度は12月から翌年11月とします。

環境への負荷		単位	71期	72期	73期
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	316,044	326,717	261,189
	()	kg-CO ₂			
②-1 取扱金属くず量	仕入れ量	t	10,357	9,373	9,567
	出荷量	t	11,441	9,409	8,439
②-2 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	11	7	12
	中間処理量	t	15	19	6
	うち再資源化等量	t	15	19	6
	最終処分量	t			
	中間処理後の産廃の処分	t			
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t			
②-3 受託した一般廃棄物の量	収集運搬量	t	1.25	0.04	0.43
③ 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	燃えるごみ	t	0.86	1.48
		資源ごみ	t	0.37	0.68
		最終処分量	t	0.86	1.48
	産業廃棄物	()	t		
		再生利用分	t	34.83	24.58
		最終処分量	t	21.11	18.97
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	276.3	300.7	238.5
	下水道	m ³	169.0	140.0	117.0
④-2 水使用量	上水	m ³	445.3	440.7	355.5
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³	0.0	0.0	0.0
⑤ 化学物質使用量	トルエン	kg	91	91	91
	キシレン	kg	62	62	62
	エチルベンゼン	kg	8	8	8
⑥ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	2,149,880	2,136,737	1,950,872
	化石燃料	MJ	2,864,238	3,321,278	3,229,002
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
⑦ 物質使用量	資源使用量	t			
	循環資源使用量	t			
⑧ サイト内で循環的利用を 行っている物質等	利用された物質	t			
	水の利用量	m ³			

○①温室効果ガス排出量（二酸化炭素）、②受託した産業廃棄物の処理量、③廃棄物排出量、④-1 総排水量、
 ⑤化学物質使用量は必須項目です。なお、総排水量の把握が困難な場合には、④-2 水使用量が把握必須項目
 ○各指標の値については次頁以降の集計結果を記入してください。

購入電力の排出係数は次の通りです。

71期 九州電力2021年版調整後0.397kg-Co2/kWh

72期 九州電力2022年版調整後0.475kg-Co2/kWh

73期 九州電力2023年版調整後0.421kg-Co2/kWh

但し高圧電力は6月～11月はゼロプランにより、排出なし

7-2 環境への取組の自己チェックリスト

評価実施日 本社鉄工工場
令和6年11月30日

白岳スクラップ工場
令和6年11月30日

総合結果

120 / 122

142 / 148

1. 事業活動へのインプットに関する項目

項目計

60 / 62

40 / 40

具体的な取組	評価点	／	基準点	評価点	／	基準点
省エネルギー	30	／	30	16	／	16
省資源	14	／	16	10	／	10
水の効率的利用及び日常的な節水	10	／	10	14	／	14
化学物質使用量の抑制及び管理	6	／	6	0	／	0

2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

項目計

36 / 36

45 / 48

具体的な取組	評価点	／	基準点	評価点	／	基準点
温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止		／		15	／	18
廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	36	／	36	24	／	24
排水処理		／		6	／	6

3. 製品及びサービスに関する項目

項目計

4 / 4

35 / 38

具体的な取組	評価点	／	基準点	評価点	／	基準点
製品及びサービスにおける環境配慮	4	／	4	35	／	38

4. その他

項目計

20 / 20

22 / 22

具体的な取組	評価点	／	基準点	評価点	／	基準点
生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組		／			／	
環境コミュニケーション及び社会貢献	20	／	20	22	／	22

評価実施日

白岳スクラップ工場
令和6年11月30日

総合結果

105 / 108

廃棄物処理の事業活動に関する項目

項目計

66 / 66

1. 受託、または受領した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

具体的な取組	評価点	／	基準点
車両の購入・選択にあたっての配慮	12	／	12
収集運搬システムにおける環境配慮及び効率化	24	／	24
収集運搬車両の使用に当たっての配慮	30	／	30

項目計

39 / 42

2. 産業廃棄物の処理などにおける環境配慮

具体的な取組	評価点	／	基準点
事業場における取組	9	／	12
中間処理後廃棄物の持ち出し先における環境負荷の低減	12	／	12
再使用、再生利用の実施	6	／	6
顧客に対する情報提供、および適正な排出に係るコミュニケーションの	12	／	12



金属くず搬入



荷下ろし完了

8. 環境経営目標達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果

8-1-1環境経営目標の達成状況（運用期間：令和5年12月～令和6年11月）

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

73期年間目標値は、「出荷重量1t あたりの使用量を69期水準に維持」としています。

73期の出荷重量は8,858.7tでした。（金属くず出荷8436.9t鉄工製品出荷421.8t）

項 目	単 位	73期	運用期間(R5/12～R6/11)		総合判定
		目標値	実績値	達成率%	
二酸化炭素排出量の維持(全社)	kg-CO2/t	30.66	29.48	104.0%	○
電力使用量の維持	kWh/t	20.99	22.40	93.7%	△
軽油使用量の維持	L/t	6.35	8.71	72.9%	×
灯油使用量の維持	L/t	0.58	0.08	731.9%	○
ガソリン使用量の維持	L/t	0.32	0.53	59.9%	×
プロパン使用量の維持	kg/t	0.21	0.20	103.4%	○
自社一般廃棄物のリサイクル率50%以上の維持	%	50.0%	31.3%	62.6%	×
自社産業廃棄物のリサイクル率52%以上の維持	%	52%	48.9%	94.0%	△
受託産業廃棄物のリサイクル率98%以上の維持	%	98%	100.0%	102.0%	○
節水活動の実施	m3	1,000	355.5	281.3%	○
地域貢献活動の推進	回数/年	4回/年	5回	125%	○

判定：○（目標比95%以上）、△（85%以上～95%未満）、×（85%未満）

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力2023年版調整後0.421Kg-Co2kWを使用し算出しています。

※当社の期は 12月から翌年11月までの1年となっています。

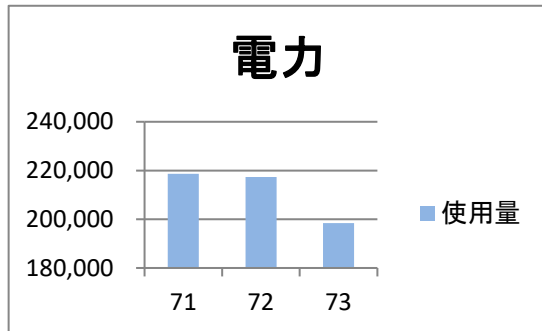
73期は令和5年12月1日から令和6年11月30日までとなります。

8-1-2 当社で使用した電力と燃料の推移



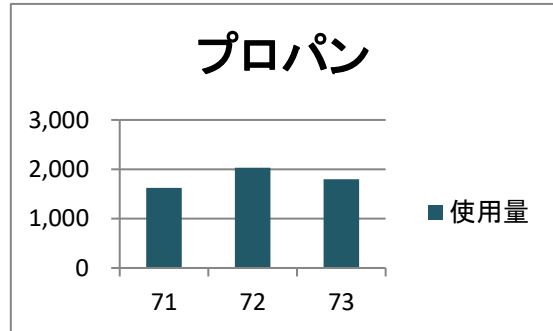
電力

期	71	72	73
使用量 kWh	218,706	217,369	198,461



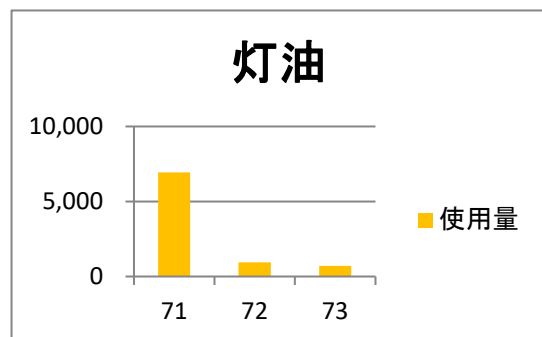
プロパン

期	71	72	73
使用量 Kg	1,620	2,030	1,800



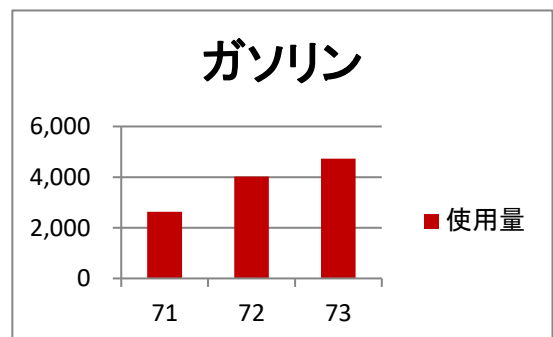
灯油

期	71	72	73
使用量 ℓ	6,945	945	702



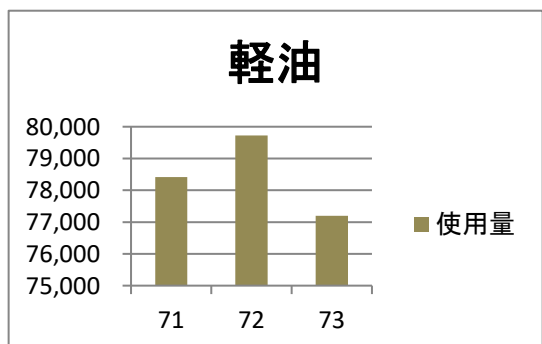
ガソリン

期	71	72	73
使用量 ℓ	2,626	4,023	4,733



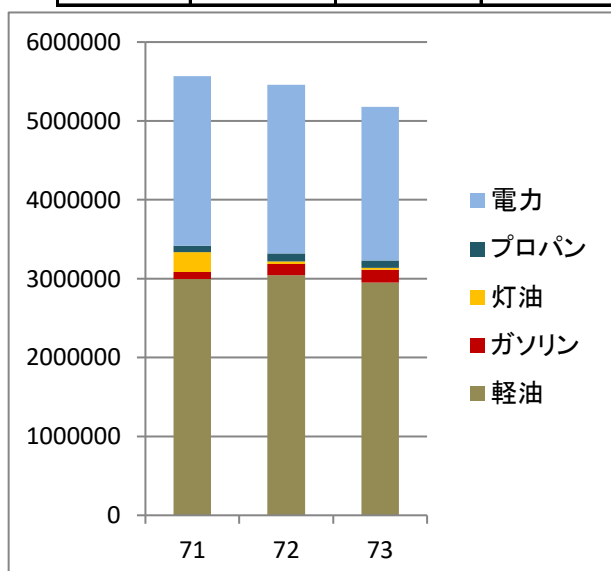
軽油

期	71	72	73
使用量 ℓ	78,417	79,725	77,202

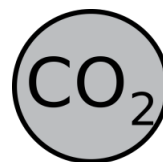


総エネルギー量

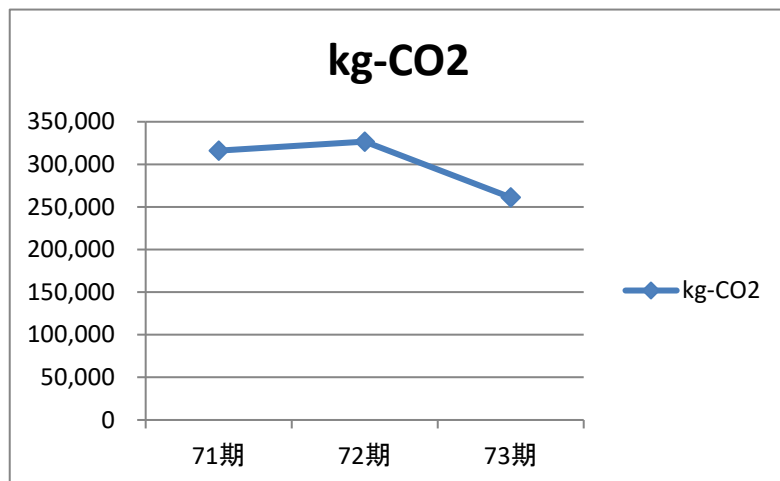
期	71	72	73
使用量 MJ	5,568,805	5,458,016	5,179,873



8-1-3 当社排出二酸化炭素見える化 1



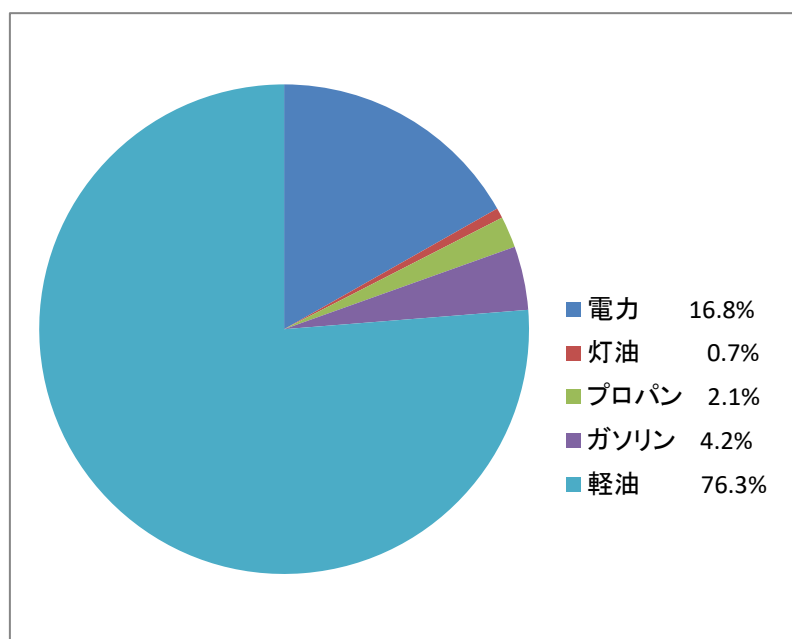
二酸化炭素排出量の推移 71-73期



期	年間排出量 Kg/Co2
71	316,045
72	326,717
73	261,189

大幅削減となりました

二酸化炭素の発生元割合 73期実績

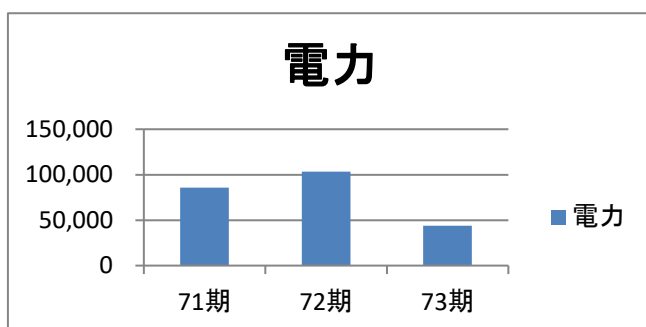


発生元種別	排出量 Kg/Co2	比率 %
電力	43,879.2	16.8%
灯油	1,748.0	0.7%
プロパン	5,400.0	2.1%
ガソリン	10,980.6	4.2%
軽油	199,181.2	76.3%
合 計	261,189	100.0%

軽油と電力で約93%をしめます

8-1-3 当社排出二酸化炭素見える化 2

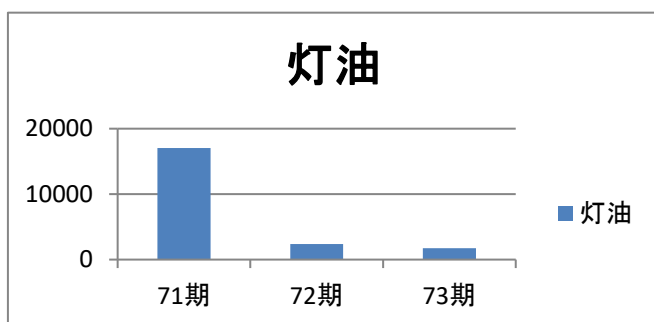
エネルギー種類別Co2排出量増減



	単位		Kg-Co2
	71期	72期	73期
電力	85,733	103,250	43,879

前期比較

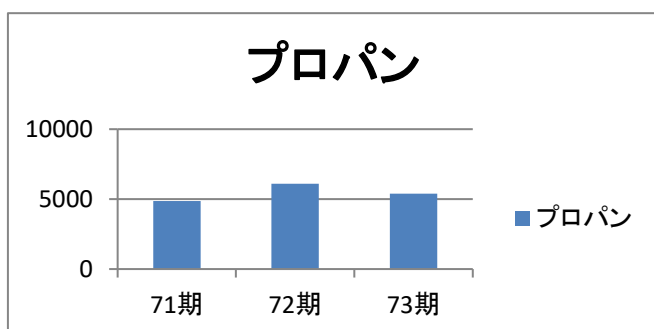
減少 -59,371 Kg-Co2



	単位		Kg-Co2
	71期	72期	73期
灯油	17,044	2,353	1,748

前期比較

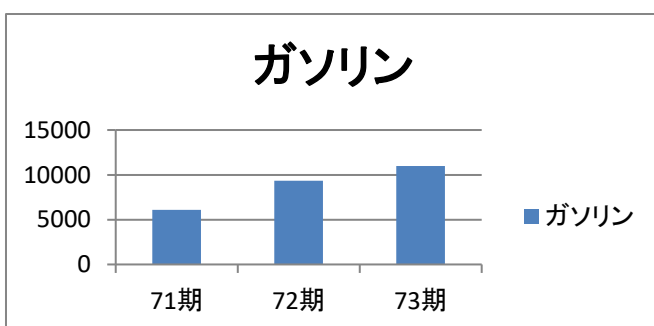
減少 -605 Kg-Co2



	単位		Kg-Co2
	71期	72期	73期
プロパン	4,860	6,090	5,400

前期比較

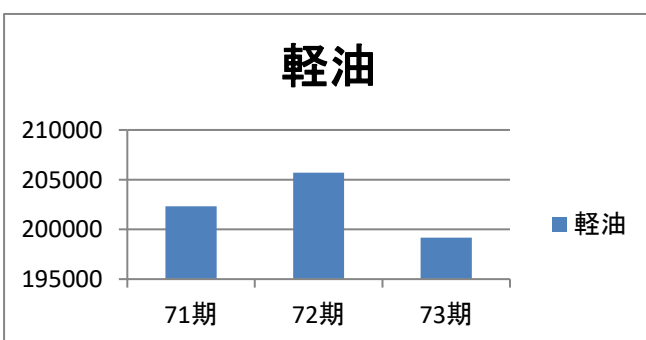
減少 -690 Kg-Co2



	単位		Kg-Co2
	71期	72期	73期
ガソリン	6,092	9,333	10,981

前期比較

増加 1,648 Kg-Co2



	単位		Kg-Co2
	71期	72期	73期
軽油	202,316	205,691	199,181

前期比較

減少 -6,510 Kg-Co2

8-2.環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

※環境目標	評 価
二酸化炭素排出量の維持	大幅な減少がみられ目標を達成できた。原因は高圧電量の料金プランを期中からCO2排出ゼロプランに変えたためである。排出ゼロプランは令和6年6月から令和8年4月までの加入予定である。
電気使用量の維持	電力は、スクラップの切断機、および 鉄工場で使用する機械の消費が大きい。使用量の維持目標クリアはできなかった。引き続き節電を心がけ目標達成を目指す。Co2は大幅に削減ができたが、要因は上記のとおり料金プランの変更によるところが大きい。
軽油使用量の維持	4t超のトラック8台、重機4台、フォークリフト1台、ショベル1台の燃料に使用している。取り扱い重量あたりの使用量とした目標は達成できなかった。72期初頭に軽油を使用する重機が1台増車となった影響が大きい。ただし、使用量そのものは前期と比較して大幅に減少している。74期からは実情にあった目標を設定する。
灯油使用量の維持	石油ストーブとボイラー燃料として使用している。目標を達成することができた。72期に灯油を燃料とする重機を廃したことによる。74期から目標数値を実情にあったものに設定する。
ガソリン使用量の維持	2t以下の小型車両5台、フォークリフト1台の燃料に使用している。目標を達成できなかった。営業活動の活発化とフォークリフト使用頻度の増加による。
プロパンガス使用量の維持	ガス切、鉄工の加工、湯沸かし器の燃料に使用している。目標を達成できた。今後も節約に務める、
自社排出一般廃棄物のリサイクル率の維持	目標達成できなかった。帳票や書類関係の紙類はリサイクルに適さず、クリーンセンター持込での焼却処分とした影響が大きい。今後の推移を見る。
自社排出産業廃棄物のリサイクル率の維持	目標に、やや届かなかった。発生する廃棄物によりリサイクル率が変わり、今期は埋め立て処分となるものが多かったためである。今のところ発生廃棄物の種類に大きな変化はないので目標は変えずに活動が続ける。
受託産業廃棄物の資源化率98%以上の維持	目標を達成した。 引き続き活動を継続する。
水使用量の維持	目標を達成できた。引き続き節水に心がける。人員の減少で使用料が減っている。74期から目標数量を見直し、現在の状況にあった目標値とする。
地域貢献活動の実施	目標を達成した。 引き続き地域貢献に努める。

9. 中期環境経営目標

9-1 中期環境計画

次期74期から76期までの中期環境計画を下記の通りとします。

1) 省エネルギー活動の推進

目 標

出荷重量(金属くず売上量とパイプサポート生産量を合算した数量)1tあたりのエネルギー使用量、および二酸化炭素排出量が73期水準を超えないようにする。

73期 出荷重量	8,858.7 t
----------	-----------

①電力消費量の維持

目標 出荷重量1tあたりの電力使用量を73期水準に維持

項目	単位	73期使用量	1tあたり(目標値)
電力消費量	kWh	198,461	22.40kWh/t

②自動車・重機用の燃料及びプロパンガスの二酸化炭素の維持

出荷重量1tあたりの燃料使用量を73期水準に維持

項目	単位	73期使用量	1tあたり(目標値)
燃料消費量灯油	ℓ	702	0.08ℓ/t
燃料消費量ガソリン	ℓ	4,733	0.53ℓ/t
燃料消費量軽油	ℓ	77,202	8.71ℓ/t
液化石油ガス(LPG)	kg	1,800	0.20kg/t

①+② 二酸化炭素排出量

売上物量1tあたりのCo2排出量を73期水準に維持

項目	単位	73期実績量	
二酸化炭素排出量	kg/Co2	261,189	
売上1tあたりの排出量	kg/t	29.48	(74~76期 各年間目標値)

2) 自らが排出する廃棄物のリサイクル率の向上

①自社排出一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

自社排出一般廃棄物のリサイクル率を50%以上に維持する

項目	単位	69期実績	各期年間目標値
再生利用	Kg	676.3	900
単純焼却	Kg	1482.5	900
リサイクル率	%	31.3%	50.0%

③自社排出産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

自社排出産業廃棄物のリサイクル率を52%以上に維持する

項目	単位	73期実績	各期年間目標値
再生利用	t	18	20
単純焼却	t	0	0
埋立	t	18.97	18.5
リサイクル率	%	48.7%	52%

3) 受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持

現在、処理受託産業廃棄物のうち、金属屑は自社で100%リサイクル、その他の廃棄物は積極的にリサイクル行う処理場を選定して運搬しているため、リサイクル率は97%を超えている。今後もリサイクル率98%以上を維持する。購入した金属屑(有価物)は数量に含めていない。

項目	単位	73期基準	各期年間目標値
再生利用	t	12.48	10
単純焼却	t	0	0
埋立	t	0	0.2
中間処理後の再生資源の割合	%	100%	98%

4) 水使用量の削減

水の年間使用量を400t以下に抑える

項目	単位	73期実績	各期年間目標値
上水,地下水使用量	m3	355.5	400

5) 地域貢献活動の推進

環境美化活動を年間1回、地域貢献活動を2種類以上実施する

項目	単位	73期実績	各期年間目標値
環境美化活動	回	2	1
地域貢献活動	種類	3	2

6) 化学物質の適正管理

73期、の使用量は下表のとおり。
これらの化学物質を適正に管理します。

種類	単位	73期基準	各期年間目標値
トルエン	Kg	90.85	化学物質を適正に管理します。
キシレン	Kg	61.82	
エチルベンゼン	Kg	8.35	



先代会長の習字をもとに作成した看板です。
古くなりましたが大切に掲示しています。

9-2.主な環境経営計画の実施内容【74期から76期】

(令和7年から令和9年)

・当社は以下の活動を実施しており、達成状況と活動の実施状況を定期的に環境会議にてフォローしています

1. 二酸化炭素排出量の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

取組目標		責任者	達成手段	
1	スクラップ出荷量および製品製造量1tあたりの電気使用量を、69期の使用量以下に維持する	白岳:鹿田俊尚 本社:花田浩一郎	1	必要のない照明の消灯
			2	照明器具の定期的な清掃
			3	エアコン設定温度の適正管理
			4	エアコンは定期的にフィルターの清掃をする
			5	昼休み等、稼働時以外は照明をこまめに消す
			6	OA機器の省電力設定
			7	動力機器は不要時の電源を切る
			8	LED照明へ随時取り替える
2	スクラップ出荷量および製品製造量1tあたりの燃料使用量を69期の使用量以下に維持する	白岳:吉沢広司 本社:古賀敏郎	1	積み込み時のアイドリングストップ実施
			2	急発進、急ブレーキの抑制
			3	社用車(乗用車)の効率的な運行
			4	日常的に車両の点検を行う(空気圧、油漏れの確認等)
			5	トラックの走行ルート of 効率化
			6	各車両の走行距離と使用燃料の管理
			7	デジタルタコメーターによる安全かつエコな運転の確認
			8	ドライバーは毎朝アルコールチェッカーで検査
			9	運転成績は毎月発表し、運転手の安全運転への意識を高める

2. 廃棄物排出量の削減の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

取組目標		責任者	達成手段	
1	自らが排出する一般廃棄物排出量のサイクル率50%以上の維持	白岳:吉沢広司 本社:花田浩一郎	1	裏紙の使用
			2	使用済封筒の再利用
			3	ゴミの分別により資源ごみの比率を高める
			4	新聞、段ボール等の紙類は故紙回収に出す
2	自らが排出する産業廃棄物排出量のサイクル率52%の維持	白岳:吉沢広司 本社:古賀敏郎	1	産業廃棄物は分別し、リサイクル率の維持に努める
			2	リサイクルを行う処理場に優先的に委託する。
3	受託産業廃棄物のリサイクル率98%の維持	白岳:鹿田俊尚	1	分別し、リサイクル率の維持に努める
			2	リサイクルを行う処理場に優先的に委託する。

3. 水使用量の削減(全体責任者:鹿田俊尚)

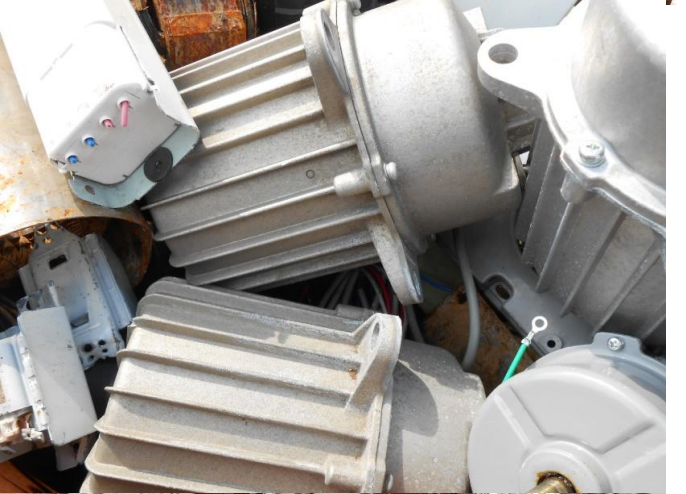
取組目標		責任者	達成手段	
1	上水の年間使用量を400t以下に維持する	白岳:松尾和徳 本社:花田浩一郎	1	手洗い時の流しっぱなし禁止
			2	掃除のときはバケツに水をくみ、その水を使用する
			3	水道管破損による漏水に気を付ける

5. 地域貢献活動の推進

取組目標		責任者	達成手段	
1	環境美化活動を年間1回、地域貢献活動を2つ以上行う	白岳:吉沢広司 本社:鹿田俊尚	1	佐世保市主催の空き缶回収キャンペーンへの参加
			2	事業所付近の環境美化活動
			3	古切手を集めPTAに寄付
			4	こども食堂への応援寄付
			5	支援学校への教材の提供、実習生の受け入れ

6・化学物質の適正な管理

取組目標		責任者	達成手段	
1	化学物質を適正に管理する	本社: 古賀敏郎	1	安全シートによる適正な管理
			2	容器を破損する可能性がない安全な場所での保管(漏洩防止)
			3	火気厳禁での保管



10.環境関連法規への違反、訴訟の有無

【適用法令】

- ① 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ② 下水道法
- ③ 消防法
- ④ 道路交通法
- ⑤ 道路法

上記の各関連法規について

「環境法規リストの遵守状況のチェック」表を作成し、定期的にチェックを行っています
過去3年間違反のないことを確認しています。

関係機関、また官庁等からの指導、指摘等は現在、過去3年間共にありません。

引き続き関連法規を遵守します。

令和7年1月31日 環境管理責任者 鹿田俊尚

11.全体の評価及び見直しにおける社長コメント

今期は、「取り扱い重量1tに対してのCO₂排出量の維持」という目標をクリアすることができました。ただしその要因は九州電力の料金プランの変更に
よるところが大きいです。

変更後の料金プランは原子力、太陽光、風力など化石燃料に頼らない発電での
電力を購入するため、CO₂の排出量がゼロとカウントされます。

この料金プランは2年間の限定での加入です。

さて、エコアクション21の活動についてですが、今期は4期前69期の
環境負荷を基準に、それ以上環境負荷活動を増やさないようにと活動してきましたが、
今後は、本レポートの期である73期を基準にする予定です。

環境負荷が今期よりも悪化しないように引き続き活動を行っていきます。

令和7年1月31日
株式会社 角商店
代表取締役 角 孟

12.環境活動レポートの公表

白岳工場受付および本社事務所にて公開しています。
エコアクション21中央事務局ホームページ上でも閲覧できます。

<http://ea21.jp/>

当社ホームページにリンクがあります。

<http://www.sumishouten.com/>

当社の産廃情報は、下記の産廃情報ネットで公開しています。
産廃情報ネット

<http://www.sanpainet.or.jp>





スクラップ工場全景



鉄工場全景